

2018年度 第2四半期決算説明会資料

2018年11月6日
ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。

単位：億円

	17年度 上期	18年度 上期	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	3,464	3,437	▲ 27 *	-0.8% (-0.4%)
事業セグメント利益	391	384	▲ 8	-1.9%
事業セグメント利益率	11.3%	11.2%		
その他の収益・費用	▲ 78	▲ 3	75	
営業利益	313	380	67	21.5%
営業利益率	9.0%	11.1%		
税引前利益	316	384	68	21.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	227	286	59	25.9%
USD	111.42	110.07		
EUR	126.63	129.88		

*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額▲23億円を含む

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2

売上収益は、3,437億円となり、前年から27億円の減収となりました。為替の影響を除いた実質ベースでも若干の減益となっておりますが、IFRS第15号の適用に伴う影響で当期の売上収益が22億円減少している影響を除けば、実質では約8億円の増収となります。

事業セグメント利益は、384億円となり、僅かではありますが減益となりました。

営業利益は、380億円となり、67億円の増益となりました。前年に比べ、為替予約関連の評価損ほぼなくなったことが主な要因です。

これにより、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、286億円となり、59億円の増益となりました。

2018年度上期 セグメント別概要

brother
at your side

単位：億円

売上収益	171H	181H	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	3,464	3,437	-0.8%	-0.4%
プリンティング & ソリューションズ	1,992	1,986	-0.3%	0.3%
パーソナル & ホーム	207	214	3.3%	4.3%
マシナリー	635	593	-6.6%	-6.9%
ネットワーク & コンテンツ	240	233	-2.9%	-2.9%
ドミノ	330	347	5.2%	5.0%
その他	60	63	6.3%	6.3%

事業セグメント利益	171H	181H	増減率
全社	391	384	-1.9%
プリンティング & ソリューションズ	269	268	-0.5%
パーソナル & ホーム	4	10	135.1%
マシナリー	76	71	-6.9%
ネットワーク & コンテンツ	11	6	-43.1%
ドミノ	25	24	-3.0%
その他	6	5	-19.1%
調整額	△ 1	△ 1	-

営業利益	171H	181H	増減率
全社	313	380	21.5%
プリンティング & ソリューションズ	203	262	29.0%
パーソナル & ホーム	△ 0	9	-
マシナリー	75	72	-2.8%
ネットワーク & コンテンツ	9	5	-42.6%
ドミノ	19	25	28.4%
その他	7	7	-8.4%
調整額	△ 1	△ 1	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

3

事業セグメントごとの内訳ですが、

P&H事業が、最高級刺しゅうマシンが好調で増収増益となったことと、マシナリー事業で、IT関連の大口案件がなかった影響で産業機器が減収減益となったことが増減のポイントとなります。

営業利益については、P&S事業が大きく増益となりました。ほぼ、為替予約関連の評価損がなくなった影響です。

◆ 売上収益 3,437億円/▲0.8%

- ✓ 通信・プリンティング機器は、中国・アジアでの本体販売が堅調維持
- ✓ 家庭用ミシンの高機能刺しゅうミシンの受注が好調
- ✓ 工業用ミシンは各地域とも堅調
- ✓ 産業機器は、自動車・一般向け堅調も、IT関連向けが大幅な減少
- ✓ ドミノ事業は安定的な成長が持続

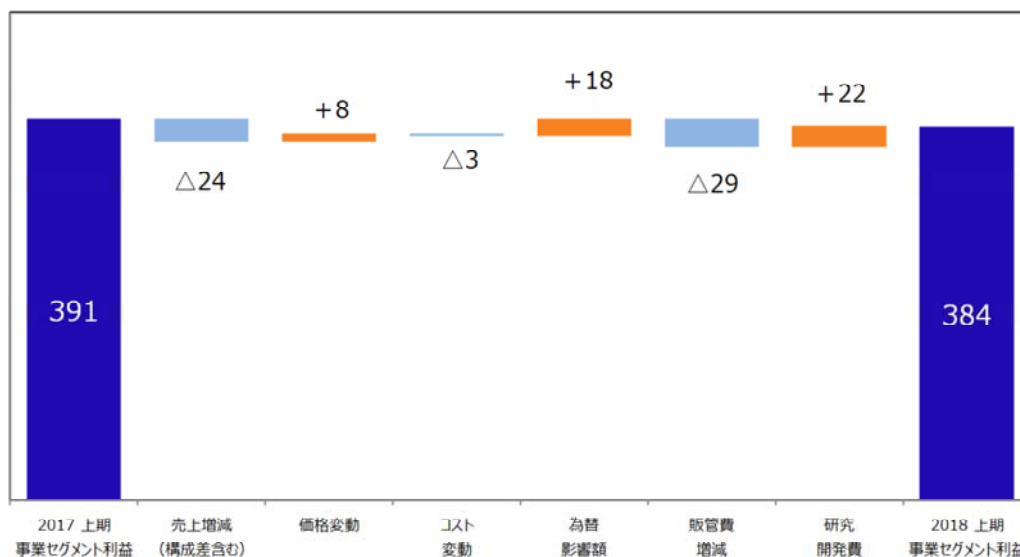
◆ 事業セグメント利益 384億円/▲1.9%

- ✓ 全社の利益率は11.2%と高い水準を維持

◆ 営業利益 380億円/ +21.5%

- ✓ 為替予約の評価損益が大幅に改善

単位：億円



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

事業セグメント利益の増減分析ですが、

売上増減・構成差で出ている▲24億は、P&Sの構成変化によるものが中心です。売上減の影響ではなく、本体の生産数量増加による一時的な構成悪化が要因です。

価格変動の+8億は、P&Sでの製品値上げの効果です。

販管費の増加29億円も、セグメントとしてはP&S事業が大半です。販売会社では顧客の変化に合わせた投資を行っているほか、ブラザー工業本体では、業務改革のための投資などが増加しております。

開発費は、モノクロレーザーの新モデル投入を控え、開発費用が増加していた前期との比較では、大きく減少しました。



プリンティング & ソリューションズ事業

通信・プリンティング機器/電子文具

単位：億円

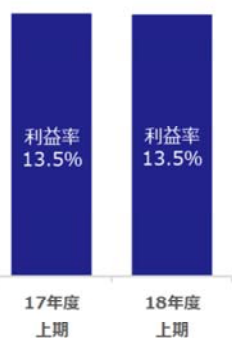
売上収益

1,992 1,986



事業セグメント利益

269 268



(通信・プリンティング機器)

- ◆モノクロLBP
 - ・OEMを除く本体販売はグローバルで前年比微減
 - ・アジア/中国は堅調持続
- ◆カラーLBP
 - ・グローバルで着実に拡大
- ◆IJP
 - ・インクタンクモデルは計画を上回るペースで拡大

(電子文具)

- ・ラベリング事業は、グローバルで計画を上回って推移
- ・ソリューション事業は、米国が好調

FIRST TANK



DCP-J988N

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

6

ここからは各事業の上期の状況です。

まずプリンティング・アンド・ソリューションズ事業です。

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業の売上収益は1,986億円で、ほぼ前年並みとなりました。

内訳としては、通信プリンティング機器が、18億円の減収となる1,744億円、電子文具が11億円の増収となる242億円となりました。

通信・プリンティング機器は、モノクロLBPは、OEM案件の減少により前年に比べ全体での売上は減少したものの、OEMを含まないブラザーブランドベースでは、中国・アジアでの販売数量が増加したことや、価格の安いモデルの販売の抑制による構成の改善などの効果もあり、売上は増加しました。

カラーLBPは、中国が少し弱かったことを除けば、グローバルで堅調に推移し、売上・数量とも増加しました。

インクジェット複合機は、採算性が低いカートリッジモデルの数量抑制に伴い、欧米での販売は減少したものの、アジア・中南米を中心にタンクモデルが計画を上回るペースで好調に推移したことで、売上・数量とも、前年をわずかに下回る水準を維持しました。

電子文具は、「ピータッチ」を中心とするラベリング事業がグローバルで堅調だったほか、モバイルプリンターなどのソリューション事業が米国で好調でした。

利益面ですが、事業セグメント利益はほぼ前年並みの268億円で、セグメント利益率は13.5%と高い水準を維持しました。



パーソナル&ホーム事業

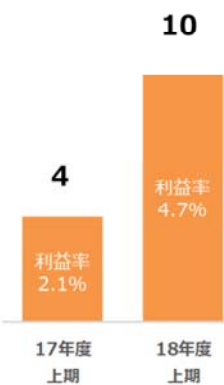
家庭用ミシン/クラフト

単位：億円

売上収益



事業セグメント利益



- ◆米国で8月から受注を開始した高機能刺しゅうマシン「Luminaire Innov-is XP1」が計画を大幅に上回る受注を獲得し、大ヒット
- ◆業界ではじめて刃の出量の調整を自動化した「ScanNCut DX」が欧米で好評



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

次にパーソナル・アンド・ホーム事業です。

売上収益は214億円で、7億円の増収となりました。

スライドに写真も載せていますが、8月から米国で受注を開始した最高級刺しゅうマシン「イノヴィスXP1」が想定を大幅に上回る人気を博しており、業績に貢献しました。

利益面ですが、売上増と製品構成の変化により、大幅な増益となっております。

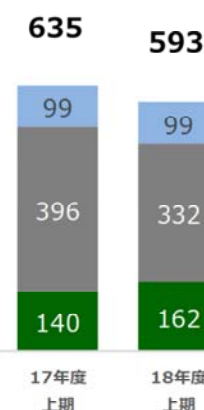


マシナリー事業

工業用マシン/産業機器/工業用部品

単位：億円

売上収益



事業セグメント利益



(工業用マシン)

- ◆中国のアレル向け需要は堅調に推移
- ◆アジア地域は、インド・ベトナム向け需要が回復
- ◆大型自動機「BAS-360/365」を発売
- ◆欧米はガーメントプリンター「GTX」が好調

(産業機器)

- ◆IT関連向けは需要一巡で減収
- ◆自動車・一般機械関連の受注は中国を除き、安定的に推移

(工業用部品)

- ◆減速機は、主に物流向け及び液晶・半導体製造装置向けが堅調に推移



BAS-365H



F600X1

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

つぎに、マシナリー事業です。

売上収益は593億円となり、事業全体では、42億円の減収となりました。ほぼすべてが、産業機器でIT関連の大口案件がなくなった影響です。

産業機器から説明しますが、

まず上期の売上収益は332億円となり、64億円、▲16%の減収となりました。

売上の内訳は、IT関連が約30%、自動車・一般機械などの安定向けが70%となりました。

なお第2四半期3カ月の内訳も上期と同じ構成です。

IT向けは17年度の上期に比べると、ほぼ半減となりました。

逆に自動車関連、社内では安定向けと呼んでおりますが、こちらは前年同期に比べ約30%増となり、好調な実績となりました。

ただ、足元では中国での受注が低迷していることから、通期の見通しを引き下げております。

ここはまた後程触れます。

次に、工業用マシンですが、今上期は各地域とも好調に推移しました。

中国での好調が続いていることに加え、アジア地域も堅調に推移しております。

欧米についても、中米での需要が堅調なことに加え、「ガーメントプリンター」が好調に推移しており、業績に大きく貢献しております。

工業用部品も、減速機は国内を中心に物流向け及び液晶・半導体製造装置向けが堅調に推移しました。

事業セグメント利益は、産業機器の減収の影響が大きく、事業全体でも減益となりました。



ネットワーク&コンテンツ事業

通信カラオケ機器

単位：億円

売上収益

事業セグメント利益



- ◆ 昨年投入した新製品「JOYSOUND MAX 2」の出荷数量は安定的に推移
- ◆ レンタル契約の増加が前年比での減収・減益要因
- ◆ 直営店舗事業は、集客力の向上を狙い、「歌わないカラオケ」シリーズの第2弾として、JETSTARとの協業を実施



つぎに、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業です。

売上収益は233億円となり、7億円の減収となりました。

昨年発売した「JOYSOUND MAX2」は堅調ですが、昨年は売買取引が中心だったのに対して、今年度はレンタルでの取引が増加しているため、その影響で減収となりました。

利益も減益となっておりますが、同様の理由となります。

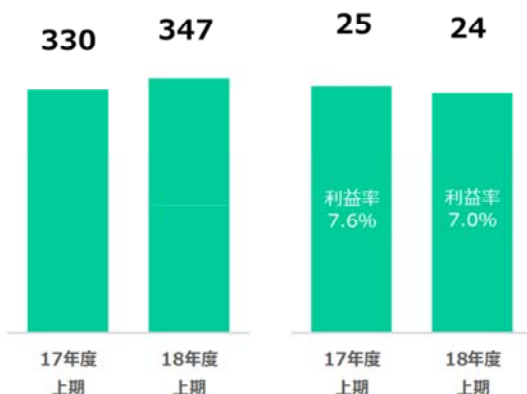
DOMINO

ドミノ事業

単位：億円

売上収益

事業セグメント利益



(コーディング&マーキング)

- ◆ 米州を除き、各地域とも堅調に推移し、全体では前年実績・計画を上回って推移

(デジタル印刷機)

- ◆ 製品投入の遅れもあり、計画は下回るものの、各地域とも需要状況に大きな変化はなく、前年実績を上回って推移



コンティニュアスインクジェット
Ax350i



フルカラーラベル印刷機
N610i

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

10

つぎに、ドミノ事業です。

売上収益は347億円となり、17億円の増収となりました。

C&M事業は、米州が減収となっていることを除けば、各地域とも堅調に推移しており、前年・計画を上回って推移しております。

デジタル印刷機も、製品投入の遅れもあり、計画は下回る水準となっておりますが、各地域とも需要状況に大きな変化はなく、前年を上回って推移しております。

事業セグメント利益は24億円で前年並みとなりました。

2018年度 連結業績予想

brother
at your side

単位：億円

	前回予想	FY18 今回予想	増減	FY17	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	6,900	6,900	-	7,130	▲ 230*	-3.2% (-1.5%)
事業セグメント利益	710	690	▲ 20	772	▲ 82	-10.7%
事業セグメント利益率	10.3%	10.0%		10.8%		
その他の収益・費用	▲ 10	10	20	▲ 86	96	
営業利益	700	700	-	687	13	1.9%
営業利益率	10.1%	10.1%		9.6%		
税引前利益	700	700	-	697	3	0.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	520	520	-	500	20	4.0%
USD	107.00	109.16		110.81		
EUR	128.00	129.33		129.45		

*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額 ▲56億円を含む

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

つぎに、18年度年間の業績予想です。

今回、事業セグメント利益だけを修正しました。

前回予想から20億円の引き下げとなる690億円としております。

前年との比較では、82億円、10.7%の減益となります。

それ以外の項目は、全て前回予想のままです。

為替の前提も変更しておりません。

2018年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率	為替影響を除く 増減率
全社	6,900	6,900	-	7,130	-3.2%	-1.5%
プリンティング & ソリューションズ	3,935	4,012	2.0%	4,122	-2.7%	-0.3%
パーソナル & ホーム	449	463	3.1%	445	4.1%	7.2%
マシナリー	1,153	1,090	-5.5%	1,273	-14.4%	-14.0%
ネットワーク & コンテンツ	490	487	-0.6%	491	-0.7%	-0.7%
ドミノ	735	714	-2.9%	684	4.4%	5.4%
その他	138	134	-2.9%	116	15.3%	15.3%

事業セグメント利益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率
全社	710	690	-2.8%	772	-10.7%
プリンティング & ソリューションズ	498	485	-2.6%	529	-8.3%
パーソナル & ホーム	30	37	23.3%	20	86.8%
マシナリー	116	100	-13.8%	144	-30.7%
ネットワーク & コンテンツ	24	24	-	27	-9.9%
ドミノ	40	40	-	46	-13.8%
その他	2	4	100.0%	7	-45.7%
調整額	-	-	-	-1	-

営業利益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率
全社	700	700	-	687	1.9%
プリンティング & ソリューションズ	489	493	0.8%	474	4.1%
パーソナル & ホーム	30	37	23.3%	11	252.0%
マシナリー	117	103	-12.0%	141	-27.1%
ネットワーク & コンテンツ	21	21	-	13	56.4%
ドミノ	40	40	-	40	0.0%
その他	3	6	100.0%	9	-33.4%
調整額	-	-	-	-1	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

事業セグメントごとの内訳です。

前回との比較では、
売上収益については、P&S、P&Hは上方修正、
マシナリー、N&C、ドミノを下方修正しております。
全体では前回通りとしております。

事業セグメント利益は、P&Sとマシナリー事業を下方修正、
P&Hを上方修正しております。
P&S事業は、主に部材のコストアップと新興国リスクを織り込んだことが修正要因で
す。マシナリーは、主に産業機器の見通しの引き下げに寄るものです。

営業利益は、マシナリー事業は事業セグメント利益同様下方修正となりますが、
P&Sは為替予約関連の見直しで事業セグメント利益の引き下げを吸収するほか、
P&H事業の引き上げもあり、全体では前回予想のままとしております。

◆ 売上収益 6,900億円（変更無し）

- ✓ マシナリー事業の見通し引下げを他の事業で吸収し、全社見通しは前回から変更無し

◆ 事業セグメント利益 690億円（前回比▲20億円）

- ✓ P&S事業はコストアップ・新興国リスクを織り込み▲13億の引き下げ
- ✓ P&H事業は、好調な製品販売の効果により+7億円の引き上げ
- ✓ マシナリー事業は、主に産業機器の中国での受注減の影響を織り込み▲16億円の引き下げ

◆ 営業利益 700億円（変更無し）

- ✓ 主に為替差損益の見直しにより、事業セグメント利益の減益を吸収

参考データ：

2018年度第2四半期 連結業績

brother
at your side

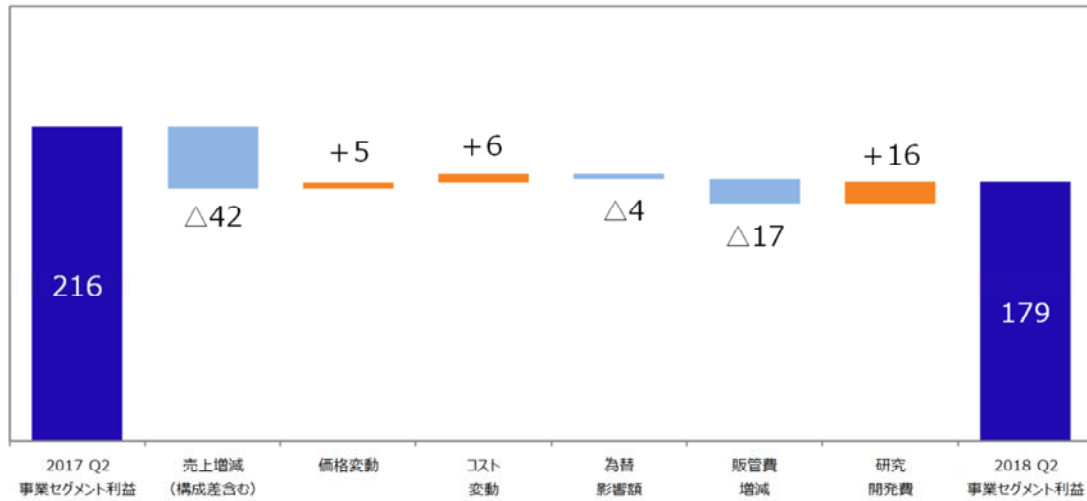
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	1,787	1,726	▲ 61 *	-3.4% (-2.3%)
事業セグメント利益	216	179	▲ 37	-17.3%
事業セグメント利益率	12.1%	10.4%		
その他の収益・費用	▲ 29	▲ 21	8	
営業利益	187	158	▲ 29	-15.7%
営業利益率	10.5%	9.1%		
税引前利益	186	159	▲ 27	-14.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	135	120	▲ 15	-11.4%
USD	111.38	111.55		
EUR	130.45	129.89		

*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額▲12億円を含む

事業セグメント利益増減要因 <18Q2実績>

単位：億円



2018年度第2四半期 セグメント別概要

brother
at your side

単位：億円

売上収益	17Q2	18Q2	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	1,787	1,726	-3.4%	-2.3%
プリンティング & ソリューションズ	1,004	992	-1.3%	0.3%
パーソナル & ホーム	114	126	10.8%	12.2%
マシナリー	344	279	-18.9%	-18.7%
ネットワーク & コンテンツ	128	118	-7.9%	-7.9%
ドミノ	166	176	6.4%	7.8%
その他	31	36	13.9%	13.9%

事業セグメント利益	17Q2	18Q2	増減率
全社	216	179	-17.3%
プリンティング & ソリューションズ	135	119	-12.2%
パーソナル & ホーム	6	12	95.2%
マシナリー	51	29	-42.4%
ネットワーク & コンテンツ	11	4	-65.9%
ドミノ	9	12	31.8%
その他	4	3	-14.2%
調整額	△ 0	△ 0	-

営業利益	17Q2	18Q2	増減率
全社	187	158	-15.7%
プリンティング & ソリューションズ	112	102	-8.6%
パーソナル & ホーム	4	10	127.8%
マシナリー	49	29	-41.4%
ネットワーク & コンテンツ	10	4	-65.3%
ドミノ	7	9	33.6%
その他	4	4	-9.2%
調整額	△ 0	△ 0	-

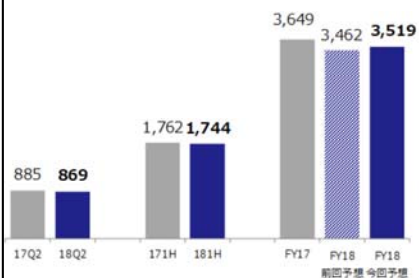
プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



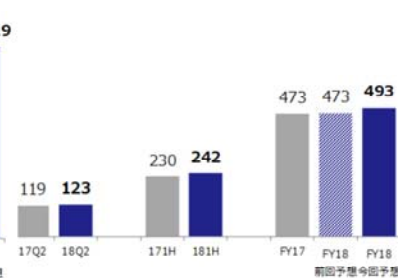
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	為替影響 除く増減率	171H	181H	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,004	992	-1.3%	0.3%	1,992	1,986	-0.3%	0.3%	4,122	3,935	4,012	-2.7%	-0.3%
通信・プリンティング機器	885	869	-1.9%	-0.3%	1,762	1,744	-1.0%	-0.4%	3,649	3,462	3,519	-3.6%	-1.3%
米州	335	331	-1.1%	1.0%	665	646	-2.9%	-0.5%	1,335	1,263	1,276	-4.4%	-0.7%
欧州	274	275	0.0%	0.8%	539	548	1.6%	0.0%	1,192	1,155	1,164	-2.4%	-1.4%
アジア他	158	159	0.6%	3.6%	315	332	5.5%	6.6%	616	615	630	2.3%	5.9%
日本	118	104	-12.1%	-12.1%	243	219	-9.8%	-9.8%	505	428	448	-11.2%	-11.2%
電子文具	119	123	3.3%	4.6%	230	242	5.0%	5.7%	473	473	493	4.3%	6.7%
米州	56	60	7.6%	9.3%	108	116	7.9%	10.3%	212	209	220	3.9%	7.5%
欧州	35	33	-5.4%	-4.9%	67	65	-3.2%	-4.8%	146	148	148	1.0%	1.9%
アジア他	19	20	3.2%	5.4%	38	41	9.2%	9.7%	76	75	78	2.9%	5.9%
日本	9	10	10.5%	10.5%	18	19	9.5%	9.5%	39	41	47	21.7%	21.7%
事業セグメント利益	135	119	-12.2%	-	269	268	-0.5%	-	529	498	485	-8.3%	-
営業利益	112	102	-8.6%	-	203	262	29.0%	-	474	489	493	4.1%	-

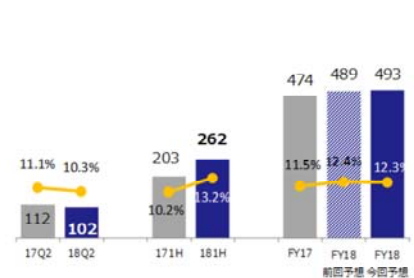
<売上収益> 通信・プリンティング機器



<売上収益> 電子文具



<営業利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	17通期	18通期 (前回)	18通期 (今回)
LBP									
売上伸び率（円ベース/前年比）									
本体	13%	24%	23%	11%	1%	-3%	17%	-8%	-7%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	1%	1%	3%	-3%	-2%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）									
本体	12%	15%	15%	10%	0%	-1%	13%	-6%	-4%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	0%	2%	-2%	0%	0%
IJP									
売上伸び率（円ベース/前年比）									
本体	3%	15%	3%	-1%	-6%	-6%	4%	-1%	-2%
消耗品	4%	3%	13%	3%	1%	-1%	6%	-6%	-5%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）									
本体	3%	6%	-3%	-2%	-6%	-4%	1%	1%	1%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	0%	1%	-5%	-4%
消耗品比率	57%	57%	56%	58%	57%	56%	57%	58%	57%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）									
LBP	13%	9%	10%	3%	-1%	-8%	9%	-	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-1%	-2%	-5%	-	-

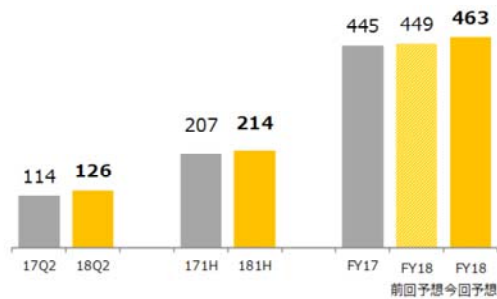
パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



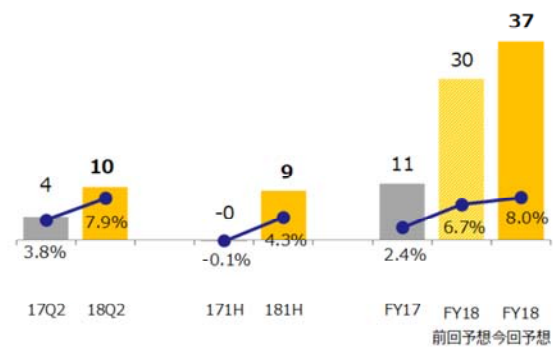
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	為替影響 除く増減率	171H	181H	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	114	126	10.8%	12.2%	207	214	3.3%	4.3%	445	449	463	4.1%	7.2%
米州	67	81	20.8%	22.4%	117	124	6.6%	9.1%	240	240	264	9.6%	14.1%
欧州	26	25	-3.2%	-2.5%	50	50	-0.3%	-2.5%	113	115	111	-1.5%	-0.6%
アジア他	12	12	-4.9%	-2.3%	25	24	-3.8%	-2.7%	55	58	51	-7.2%	-3.7%
日本	8	8	-3.1%	-3.1%	15	16	1.9%	1.9%	36	36	37	2.3%	2.3%
事業セグメント利益	6	12	95.2%	-	4	10	135.1%	-	20	30	37	86.8%	-
営業利益	4	10	127.8%	-	△ 0	9	-	-	11	30	37	252.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



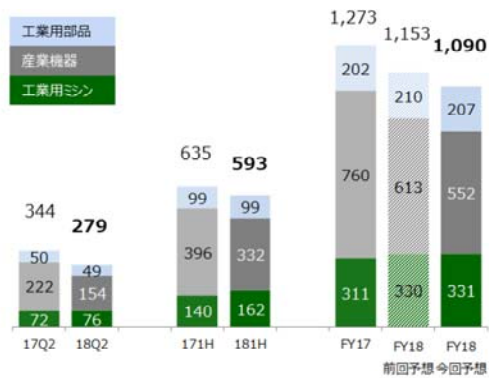
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



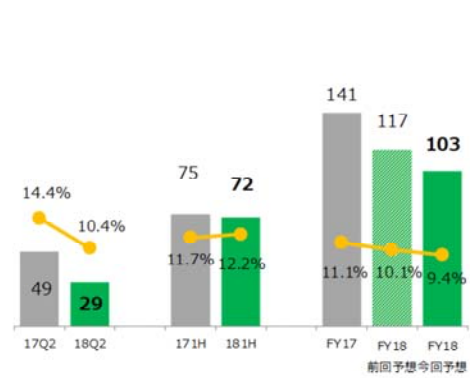
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	為替影響 除く増減率	171H	181H	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	344	279	-18.9%	-18.7%	635	593	-6.6%	-6.9%	1,273	1,153	1,090	-14.4%	-14.0%
工業用マシン	72	76	4.9%	5.3%	140	162	16.0%	15.7%	311	330	331	6.5%	8.0%
産業機器	222	154	-30.5%	-30.3%	396	332	-16.1%	-16.6%	760	613	552	-27.4%	-27.4%
工業用部品	50	49	-1.8%	-1.9%	99	99	-0.3%	-0.3%	202	210	207	2.5%	2.9%
事業セグメント利益	51	29	-42.4%	-	76	71	-6.9%	-	144	116	100	-30.7%	-
営業利益	49	29	-41.4%	-	75	72	-2.8%	-	141	117	103	-27.1%	-

<売上収益>



<営業利益>



マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	為替影響 除く増減率	171H	181H	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	344	279	-18.9%	-18.7%	635	593	-6.6%	-6.9%	1,273	1,153	1,090	-14.4%	-14.0%
工業用マシン	72	76	4.9%	5.3%	140	162	16.0%	15.7%	311	330	331	6.5%	8.0%
米州	15	16	6.3%	6.3%	29	33	14.7%	16.3%	64	68	67	5.4%	8.1%
欧州	14	16	17.8%	18.3%	28	38	35.2%	31.7%	63	64	71	12.9%	13.0%
アジア他	42	41	-1.7%	-1.2%	81	88	8.9%	9.1%	178	191	188	5.4%	7.2%
日本	2	2	52.5%	52.5%	3	4	39.0%	39.0%	7	7	6	-16.4%	-16.4%
産業機器	222	154	-30.5%	-30.3%	396	332	-16.1%	-16.6%	760	613	552	-27.4%	-27.4%
米州	6	11	75.5%	-	14	20	47.8%	-	33	38	34	5.7%	-
欧州	6	9	38.4%	-	15	20	33.4%	-	30	33	30	1.5%	-
アジア他	189	102	-45.9%	-	331	234	-29.3%	-	608	442	361	-40.6%	-
日本	20	32	60.2%	-	36	58	59.8%	-	89	100	126	41.2%	-
工業用部品	50	49	-1.8%	-1.9%	99	99	-0.3%	-0.3%	202	210	207	2.5%	2.9%
米州	6	6	2.7%	2.2%	13	12	-5.0%	-4.1%	25	26	26	3.8%	5.6%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	5	7.4%	6.9%	10	12	15.8%	14.0%	20	23	23	11.2%	12.8%
日本	39	38	-3.7%	-3.7%	76	75	-1.6%	-1.6%	157	160	159	1.2%	1.2%

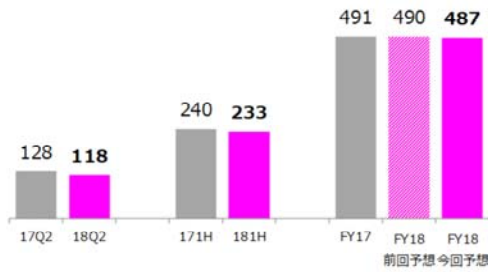
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



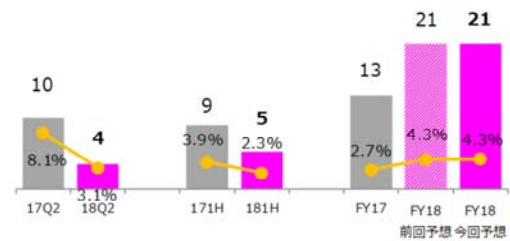
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	171H	181H	増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率
売上収益	128	118	-7.9%	240	233	-2.9%	491	490	487	-0.7%
事業セグメント利益	11	4	-65.9%	11	6	-43.1%	27	24	24	-9.9%
営業利益	10	4	-65.3%	9	5	-42.6%	13	21	21	56.4%

<売上収益>



<営業利益>



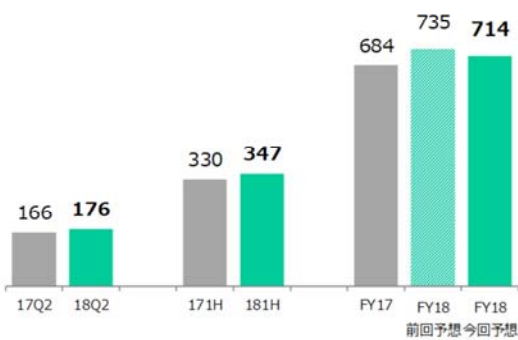
ドミノ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



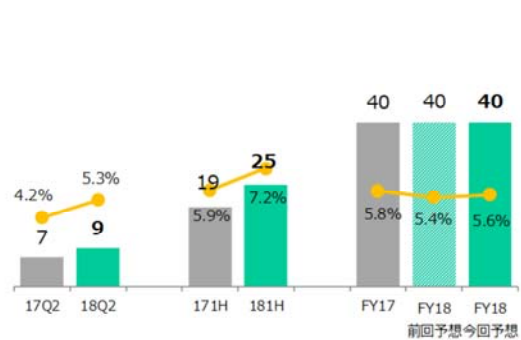
単位：億円

	17Q2	18Q2	増減率	為替影響 除く増減率	171H	181H	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	166	176	6.4%	7.8%	330	347	5.2%	5.0%	684	735	714	4.4%	5.4%
米州	42	41	-2.2%	-1.7%	82	76	-7.6%	-8.9%	159	176	165	3.9%	5.0%
欧州	77	84	9.9%	10.2%	155	171	10.6%	9.0%	337	351	345	2.3%	3.7%
アジア他	47	51	8.2%	8.4%	93	100	7.5%	5.9%	187	207	204	8.6%	10.0%
事業セグメント利益	9	12	31.8%	-	25	24	-3.0%	-	46	40	40	-13.8%	-
営業利益	7	9	33.6%	-	19	25	28.4%	-	40	40	40	0.0%	-

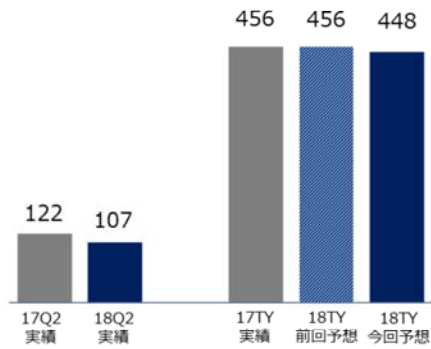
<売上収益>



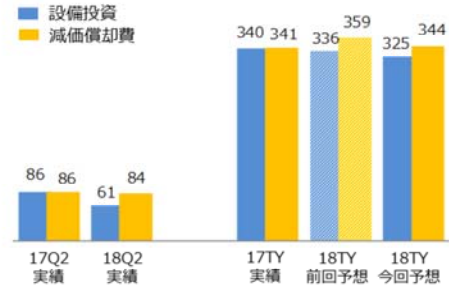
<営業利益>



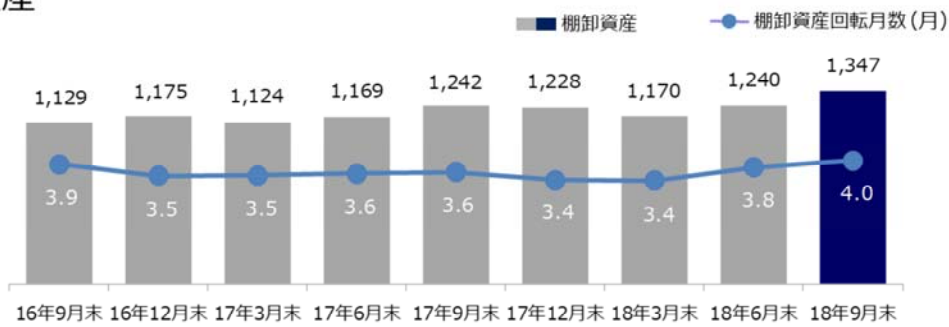
研究開発費
(億円)



設備投資・減価償却費
(億円)



棚卸資産
(億円)



brother
at your side